

2013年11月26日 307号

共同センターNEWS

憲法改悪反対共同センター

文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX5842-5620)

<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

世論を広げて、秘密保護法案は廃案に

憲法改悪反対共同センター

緊急 国会行動

自民、公明両与党は26日午前の衆院国家安全保障特別委員会で、みんなの党と日本維新の会とまとめた特定秘密保護法の4党修正案の採決を強行し、自民、公明、みんなの賛成多数で可決しました。夕方からの本会議で緊急上程し、衆院通過をねらうという事態になっています。25日の同委の地方公聴会での意見を踏まえ、修正案の審議もほとんどしない中での採決にみんな以外の野党は反発を強めています。昼には12・6集会実行委員会などがおこなった国会前行動に500人が参加して厳重に抗議し、廃案に向けた決意を交流しました。憲法改悪反対共同センターは15時30分から衆議院議員面会所で緊急行動をおこないました。



与党は世論が広がることを恐れている。

緊急行動では日本共産党の赤嶺衆議院議員が国会情勢報告。「産経新聞の世論調査では慎重審議が82%を占め、日曜討論では公明党の副代表が審議が足りないと言っているのにもかかわらず委員会で強行採決した。福島公聴会では、全員が反対または慎重審議を求めた。浪江の馬場町長が、『この法律ができればテロ対策と言って原発の情報は必ず秘密にされる』と反対した。沖縄では基地の情報すべてが秘密の対象になると反対運動を強めている。いまでもアメリカの公文書で明らかになっている問題すら明らかにできない。こんな秘密主義の国家にさらなる権力を持たせてはいけない」と述べました。「政府・与党はこれ以上世論が広がることを恐れて、早く採決しようとしているが、本会議への緊急上程は全党一致が慣例だ」として、さらに世論を大きく広げて、国会内外でともに頑張ろうと呼びかけました。

運動を緊急に大きく盛り上げよう—各団体が決意表明

各団体が決意表明を行いました。

農民連の笹渡事務局長は、「我々はTPPの問題では世界中から情報を集めているが、秘密保護法ができれば逮捕の危険がある。国に楯つくものを一斉にしょっぴく治安維持法だ」。全教の田倉書記次長は「戦前に教え子を戦場に送った痛苦の中から戦後教職員組合運動は始まった。戦争に突っ走っていった戦前の軍事機密法と同じ性格を持つ秘密保護法は廃案に」と訴えました。

いともたってもいられず山梨から上京した新婦人山梨県本部の代表は、「昼に行われた女性たちの銀座デモに参加した。道行く人にチラシを見せて場所を聞くとまず『がんばってください』といわれた。世論は廃案を願っていると実感した」と報告。民青の東光常任委員は「多感な青年期に、目、耳、口を塞ぐ秘密法は日本社会に有害だ」と述べ、ともに戦う決意を表明しました。

憲法会議の平井さんが「内容もやり方もとんでもない秘密保護法案を廃案に追い込もう」と行動提起。新婦人の西川副会長が「女性の銀座デモは金曜日に行動提起して、300人が集まった」と述べ、運動を緊急に大きく盛り上げようと訴えました。

本日、7時から官邸前で12・6実行委員会による官邸前行動が予定されています。

行動提起 特定秘密保護法を廃案に追い込もう

憲法改悪反対共同センターは、26日15:30から緊急国会行動にとりくむとともに、緊急運営委員会を開催し、下記とりくみについて確認しました。廃案に追い込むためにとりくみをつよめましょう。

- ①引き続き、宣伝・対話・署名を大きく広げ、日本版 NSC と特定秘密保護法案の本質と狙いを明らかにしましょう。
- ②地元選出国會議員や特別委員会委員への要請を集中しましょう。
- ③11月29日の国会行動（共同センター主催）
 - ・11月29日(金)12:00～13:00 参議院国会前行動
 - 15:00～17:00 院内集会(参議院 B107 会議室)と議員要請行動
- ④憲法会議主催の国会行動へ多くの参加を
 - ・12月2日(月) 12:00～13:00 参議院議員会館前終了後議員要請
 - ・12月6日(金) 12:00～13:00 終了後議員要請
 - ※12月4日には、国民大運動実行委員会が定例国会行動にとりくみます。
- ⑤「秘密保護法」廃案へ！ 12.6 大集会
 - 12月6日(金) 18:30～19:15 終了後デモ行進 場所:日比谷野外音楽堂
 - 主催:「秘密保護法」廃案へ！ 実行委員会

戦争する国づくりにつながる特定秘密保護法案の廃案を求めます！

全労連が単産委員長アピールを発出

全労連は11月22日、全労連議長と加盟21単産委員長の連名で「戦争する国づくりにつながる特定秘密保護法案の廃案を求めます」とのアピールを発出しました。(詳細は全労連HPへ)

//各地のとりくみ//

長崎

人権と民主主義を破壊する「特定秘密保護法案」に反対する決議

『特定秘密保護法案』廃案！衆議院強行採決に反対する緊急集会」が呼びかけられ、11月25日夕刻、長崎駅前高架広場に250人が集まりました。緊迫した雰囲気の中、長崎の交通の中心から「暴走する安倍政権に異議あり！特定秘密保護法案は廃案にせよ！」との叫び声を上げました。



この集会は長崎県平和センターと長崎地区労が呼びかけ、これに憲法改悪阻止長崎県共同センターを構成する労働組合（長崎県労連加盟各組合）や民主団体も参加。党派や所属団体の枠を超えて、「特定秘密保護法案は廃案にせよ！」の一点で結集しました。

主催者あいさつでは、「何が秘密で、何が秘密でないのかわからない」「普通に行われている平和運動が大きく制約される恐れがある。戦争を準備しようとしているとしか思えない。改正を繰り返して厳罰化の恐れもある」と、法案の危険性を強く訴え、廃案を求めました。集会参加者の満場一致で「人権と民主主義を破壊する「特定秘密保護法案」に反対する決議」を採択しました。

長崎は怒っている！！（長崎県労連ニュースブログより）

お知らせ

秘密保護法阻止！憲法改悪ストップ！ 世界の宝9条を守り生かそう！

緊急

「11・29 院内集会と議員要請行動」にご参加を

11月29日(金)15:00から、参議院 B107 会議室で開催します。

仲間とともに署名を持って参加しましょう！

「秘密保護法」廃案へ！ 12.6 大集会

12月6日(金)18:30～19:15 終了後デモ行進 場所:日比谷野外音楽堂

主催:「秘密保護法」廃案へ！ 実行委員会